

○ 夏の高温と紅葉

11月は、紅葉が見頃を迎えますが、本年は、各地の名所で異変が起きていると報道されています。その原因は、夏の記録的な高温です。

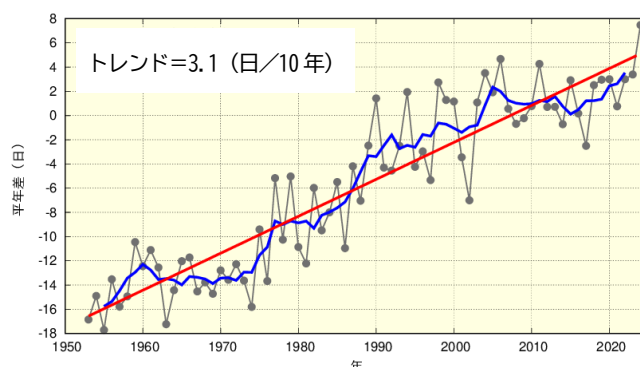
気象庁は、今夏の日本の平均気温がこれまでの記録を大幅に上回り、1898年の統計開始以降、最も高くなったと発表しました。その影響を受け、葉が日焼けする被害が起きており、本格的な色づきを迎える頃には葉が落ちてしまうと予想されています。こうした被害は、極度の高温や日射が抑えられる山間部に比べて都市部に出やすいと言われていることから、本年は、都市部を中心に、紅葉に混じり、葉の色づきが不十分な樹木や、落葉した樹木も多くみられることが懸念されます。

○ かえでの紅葉・黄葉日の変化について

気象庁では、季節の進み具合など総合的な気象状況の推移を知ることを目的として、1953年から植物の開花や紅葉、黄葉などの観測を実施しています。

右上の図は、かえでの紅葉・黄葉日の経年変化を示しており、この図から、かえでの紅葉・黄葉日は、1953年以降10年あたり3.1日程度遅くなっていることがわかります。紅葉の見頃は、9～11月の気温が高いと遅くなると言われており、気候変動による長期的な気温上昇が影響していると考えられます。

紅葉狩りへお出かけの際は、最新の見頃予報を確認し、適切な時期と場所を選ぶと、より楽しむことができるでしょう。



気象庁「かえでの紅葉・黄葉日の経年変化」
(<https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/monitor/index.html>) を加工して愛知県が作成

〈凡例〉

折れ線(マーカーあり) … 年差※

折れ線(マーカーなし) … 年差の5年移動平均値

直線 … 長期変化傾向

※観測地点で紅葉・黄葉を観測した日とその
平年値(1991年から2020年までの30年間の
平均値)との差を全国平均した値

紅葉狩りは、私たちに季節の移ろいを感じさせる大切な秋の風物詩です。しかし、気候変動が進むと、見頃を迎える時期が変化し、色づきも以前のような鮮やかさが失われるかもしれません。

これからも見事な紅葉を楽しむためには、私たち一人ひとりが常日頃から地球温暖化対策に取り組み、気候変動への影響を減らすことが求められます。こうした取組の積み重ねが、未来の美しい秋を守ることにつながります。

愛知県気候変動適応センター
(環境調査センター 企画情報部)
電話 052-910-5489 (ダイヤルイン)

愛知県気候変動適応センターだよりのバックナンバーはこちら
<https://www.pref.aichi.jp/site/ailccac/tekiou-dayori.html>

